

研究領域と研究手法の違いに見る文脈指示のコ・ソ・ア

日時：2011年10月8日(土)14時00分～16時00分

場所：米子コンベンションセンター 多目的ホール (JR米子駅から徒歩5分)

参加方法：会場にて大会参加受付 (予稿集代 会員4,000円 非会員5,000円)を行ってください。

大会参加受付をされた方は、本パネルセッションを含む全てのプログラムに参加できます。

コ・ソ・ア,特に文脈指示のコ・ソ・アについては,以前から重要な研究テーマになっている。しかし,日本語教育において,中級以上になっても誤用が出現するなど,十分な指導が行われていない。そこで,文脈指示のコ・ソ・アを材料として,各分野の第一人者である3名のパネリストにより,各研究手法で明らかになっていることなどを紹介し,その後,ディスカッションを行う。テキスト言語学,第二言語習得研究,日中対照研究の観点から,どのように研究することができるか,他領域の観点からどのような新しい知見を得ることができるか,さらに今後,どのような研究を行うべきかなどについて考える。これらの目的のために,以下の手順で進行していく。

パネリスト

庵 功雄 (一橋大学)

迫田久美子 (広島大学大学院)

張 麟声 (大阪府立大学)

河野 俊之 (横浜国立大学)

- 1) 庵が,テキスト言語学の観点から,日本語学的に文脈指示のコ・ソ・アで明らかになっていることについて簡単に概観する。
- 2) 迫田が,文脈指示のコ・ソ・アを扱った第二言語習得研究について述べる。これは,言語を分析するだけでは分からないことが,習得という観点をを用いることによって,どのようなことが明らかになるかについて理解することを目的とする。
- 3) 張が,日本語の現場指示及び文脈指示のコ・ソ・ア及び中国語のそれらに該当する語の異同等について述べる。これは,日本語を分析するだけでは見えてこないことが中国語という外国語との対照研究を行うことで,どのようなことが明らかになるかについて理解することを目的とする。
- 4) 再び,庵が登壇し,テキスト言語学の観点から,文脈指示のコ・ソ・アと結束性について述べる。文脈指示のコ・ソ・アに誤用があることで,意味が通じないということはあまりないだろう。そこで,文脈指示のコ・ソ・アを学習することの効果は低いと考えられてしまうかもしれないが,文脈指示のコ・ソ・アを誤ると,結束性が高い,質のいい文章・談話にはなりにくいなどが考えられる。これは,文脈指示のコ・ソ・アと結束性の関係を理解し,文脈指示のコ・ソ・アを学習する意義について理解することを目的とする。
- 5) 最後に,聴衆を交えたディスカッションを行う。ディスカッションでは主に以下の内容を扱う予定である。
 - 文脈指示のコ・ソ・アを各研究領域から見ることで,分かること・分からないこと
 - 現場指示のコ・ソ・アと文脈指示のコ・ソ・アとの関係
 - 研究が教育(教材や教師養成)に現在,どうつながっているか
 - 研究を教育(教材や教師養成)にこれから,どうつなげるか
 - 各研究領域の魅力